

JR加古川線 WT 検討結果報告書（案）

<p>現状・課題 (路線の特性)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・運行本数、他線との接続、住民主体となったサービス面の利便性に欠ける ・二次交通や観光コンテンツとのリンクが脆弱 <p>(JR加古川線の特別事情)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・駅舎を解体して駅の簡素化(久下村、比延、本黒田駅等) ・災害時リダンダンシー機能確保のための電化(全線電化は加古川線WTのみ) ・沿線企業の不在
<p>利用促進策の 検討の方向性</p>	<p>① 日常利用の促進：利用者のサービス向上による新たな価値の創出</p> <p>② 観光需要の増進：ICTの活用やイベント等による利用のきっかけ創出</p> <p>③ まちづくりと一体となった魅力創出：地域活動家・住民との連携による駅周辺の活性化</p>
<p>利 用 促 進 策 (案)</p>	<p>①日常利用の促進・②観光需要の増進</p> <ul style="list-style-type: none"> ●利用補助等 <ul style="list-style-type: none"> ・通勤・通学者への定期券購入補助 ・運賃無料日(鉄道〇〇記念日)の検討 ・駅周辺の駐車場利用者への助成 ●環境整備 <ul style="list-style-type: none"> ・ICOCAの導入【共通】 ・トイレ、待合スペース等の整備促進 ・貨客混載列車の運行 ●2次交通 <ul style="list-style-type: none"> ・通学自転車に乗せるサイクルトレインの検討 ・地域と駅を結ぶ移動手段の強化(デマンド交通、ループバス等) ・パーク&ライド、キス&ライドの整備 ・自転車駐輪場の整備支援 ●イベント・コンテンツ等 <ul style="list-style-type: none"> ・駅舎等を活用したARスタンプラリーの実施 ・古民家アトリエを活用したインバウンド誘客 ・体験コンテンツ(恐竜化石の発掘、毛針作り等)の発掘とPR ・レンタサイクルの実施 ●情報発信 <ul style="list-style-type: none"> ・高校生によるSNSを活用した情報発信 ・JR西アプリ「WESTER」を活用した沿線情報の集約・発信【共通】 ●その他 <ul style="list-style-type: none"> ・スマート通勤(電車利用)キャンペーン ・ダイヤに合わせた始業・就業の検討 <p>③まちづくりと一体となった魅力創出</p> <ul style="list-style-type: none"> ・駅周辺の土地を活用したイベントの実施(朝市、食べ物市) ・利用促進運動のための地域住民によるサポーターの立ち上げ ・駅周辺の活性化に向けた地域の活動家の活動支援とネットワーク化 ・駅舎に幼児落書きコーナーの設置 <p>④その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地場産品を活用した列車の装飾(播州織ヘッドカバー等) ・子どもイベントでの鉄道活用(保育園等の遠足、小学生の社会見学) ・谷川駅で停車中の列車を活用した取組み(会議、子ども食堂) <p>※利用促進策の実施にあたってはふるさと納税・クラウドファンディング等の活用も検討</p>

※下線は短期的な利用促進策